

7 A案

教材名：心を言葉で

主題名：礼儀の大切さ

内容項目：B (8) 礼儀

1 **ねらい** 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養う。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 礼儀正しい振る舞いについて話し合う。

- ① ふだんみなさんが、礼儀正しくしていることはどんなことですか。
- ・挨拶
 - ・お礼
 - ・言葉づかい
 - ・おじぎ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 試合に負け、泣いている龍樹はどんな気持ちでしょう。
- ・悔しい
 - ・せっかく練習したのに勝てなかった
 - ・今度こそもっと練習をして勝つぞ

- ③ お父さんはどうしてうれしかったのでしょうか。
- ・負けたけれど、最後まで龍樹が堂々と礼をしたから
 - ・ちゃんと挨拶できるまでに龍樹の心が成長したと感じたから

- ④ なぜ礼儀正しくすることが大切なのでしょう。
- ・相手へ感謝の気持ちを伝えることになるから
 - ・お互いに気持ちよくなれるから
 - ・けんかしないで済むし、仲良くなれるから

◇ 映像資料「心を言葉で」を視聴する。

- ⑤ 剣道の様子を見て、礼儀について気づいたことはありますか。
- ・言葉だけじゃなくて、お辞儀など態度も大切なんだ

◇ 自分自身を見つめる。

- ⑥ 日頃、「礼儀って大切だな」と感じたことはありますか。
- ・ちゃんと丁寧に謝ったら、すぐに仲良くなれた
 - ・きちんと挨拶している人を見ると格好よかった

◇ 「わたしたちの道徳」(P 60～61)を聞き、今日の授業で「礼儀」について感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③では、父の気持ちを考えることで礼儀について深く考える④への布石とする。
- ・礼儀について考える際には、挨拶だけではなく、言葉遣いや所作や態度なども含めて考えるようにしたい。
- ・終末では、学校生活の中で見られた児童の礼儀正しい姿の写真やエピソードなどを伝え、余韻を残して終わることも考えられる。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校中学年）「7 心を言葉で」

7 B案

教材名：心を言葉で	
主題名：礼儀の大切さ	内容項目：B (8) 礼儀

1 ねらい 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養う。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
<p>◇ 剣道の試合の様子を映像資料で視聴する。</p> <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>① 「勝ち負けより大切なこと」って何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 負けたとしても、ちゃんと挨拶することが大事だってこと・ 勝ち負けの結果が何であっても、受けとめること・ 試合をしてくれた相手へ感謝の気持ちを表すこと <p>(礼儀正しく出来たときと出来なかったときでは、何か違いがあるのでしょうか。)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 試合の後の気分が違う ・ 格好良さが違う・ 試合をしてくれた相手への感謝の気持ちが違う <p>◇ 「わたしたちの道徳」(P56～58)の「礼儀で通い合う心」を活用して話し合う。</p> <p>② 「礼儀で通い合う心」とはどういうことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 挨拶することでお互いの心が伝え合えること・ 心がこもった挨拶をすると、お互い気持ちが良くなること <p>◇ 自分自身を見つめる。</p> <p>③ あなたも、「礼儀で心が通い合ったこと」はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 思い切って自分から挨拶してみたら、笑顔が返ってきてうれしかった・ 乱暴な言い方より、優しい言葉で言った方がケンカにならなかった <p>◇ 今日の授業で「礼儀」について感じたことや考えたことを書く。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ①では、様々な意見を引き出しながらも、繰り返し発問を入れることで、礼儀の大切さについて深く考えていくことができる。
- ・ 終末では、ゲストティーチャー（礼儀を重んじている方）の話を聞き、スポーツの場面に限らず、多様な場面で礼儀が重んじられていることを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養うようにすることもできる。

4 参考資料

- ・ 映像資料集2（小学校中学年）「7 心を言葉で」